

## V. 特記事項

### 1. 内部進学をはじめとする学園内のさまざまな連携

本学は、保育園、中学校、高等学校、大学、大学院を擁する学園であり、明治38(1905)年に大阪府立堂島高等女学校の同窓会「金蘭会」が開設した金蘭会女学校を母体としている。本学及び本大学院の校地は、法人本部を含め、吹田市藤白台に位置しており、北区大淀に位置する保育園及び中高とは場所が離れているが、建学の精神のもとで、さまざまな学園内連携を図っている。

教育にかかる連携として、本学教育学部教育学科及び看護学部看護学科による保育実習及び臨地実習の金蘭会保育園での実施、高校こども教育コースによる保育実習の金蘭会保育園での実施、高大連携プログラムの一環としての本学教員による高大連携授業の提供、本学教員による中学校での授業の提供などがあり、それぞれの物的・知的資源の有効活用を図っている。

また、高校からの内部進学者の受入れ促進に向けては、「高大連携連絡会議」を開催し、本学及び高校の教員間の情報交換、在学生の学修状況に関する情報提供、入試情報提供、行事の共同開催についての協議等を行っており、本学の教員にとっては、内部進学者の高校在籍時の学びの状況を知り、修学指導の参考とするとともに、高校の教員にとっては、本学への進学を希望している生徒への進路指導の参考とする機会として活用している。

受入れ促進のための募集広報活動としては、先述の高大連携授業のほか、入試説明会を通じた入学者選抜方法の変更点などの情報提供、本学に入学した高校卒業生による内部進学者交流会等を実施しており、本学への進学を希望している生徒の意思決定に役立つ機会としている。

さらに、学長、中高校長、法人事務局長、大学事務局長、中高事務長等が出席する「学園運営会議」を定期的で開催し、開催場所を本学、中高交互に設定することで、学園全体の諸課題の確認や情報共有を図っている。

このほか、学園内の進学を促進を図るため、保育園を除くいずれかの学校（金蘭会短期大学、金蘭短期大学、千里金蘭大学短期大学部を含む）の卒業（修了）生（見込みの者を含む）で、本学園が設置するいずれかの学校へ入学（編入学を含む）を希望するすべての者に対し、入学試験における入学検定料及び入学金を免除しており、金蘭会女学校設立当時の「学び、そして、社会のために尽くさねば」という気概を継承し、本学園での学びを通じた、信頼される自立した人材の育成に向けて、積極的な受入れに努めている。